

## 学 会 記 事 Newsletter

### I 理事担当事項の変更と会計幹事の交替

会計担当理事の笹月健彦教授(東京医科歯科大学)と会計幹事の西村泰治会員(同)が九州大学へ転勤されることになったので、下記のように理事担当事項の一部の変更と、会計幹事の交替が行なわれた。

会 計 担 当	外村 晶理事
日医用語担当	笹月健彦理事
会 計 幹 事	中島八良会員 (東京医科歯科大学法医学教室)

(1984年7月, 会長 井上英二)

### II 計 報

日本人類遺伝学会外国人名誉会員, 国際人類遺伝学会常置委員会委員, 国際眼科学会理事会名誉会長, ベルギーゲント大学名誉教授, 男爵ジュールフランソワ教授は, 1984年8月13日, 休暇先のスイスのツェルマットで急逝された。

フランソワ教授は, 1907年5月24日, ベルギーで生れ, 1930年に医科大学を卒業し, 1957年にゲント大学の眼科主任教授となり, 眼科, 人類遺伝学の方面で指導的役割を果たされた。1978年に名誉教授となって以後も眼科や, 人類遺伝学の方面で活躍しておられた。

フランソワ教授は, 1971年に急逝したジュネーブのフランセシエッティ教授や, ローマのジェッダ教授らと国際人類遺伝学会を1958年に創立し, 創立以来常置委員会の委員をつとめられ, 副委員長をつとめられたこともある。また, ヨーロッパ人類遺伝学会会長や, 国際神経遺伝学会の創立者として, 学会の発展につとめられた。

教授の人類遺伝学における主な業績は, 臨床遺伝学の一分野としての眼遺伝学の集大成である。フランセシエッティ教授, ワールデンブルダ教授と共著の眼遺伝学の名著, フランソワ教授の「眼科遺伝学」は, いずれもこの方面の古典として, 世界中で広く読まれている。

教授の教室には, 早くから細胞遺伝, 染色体の研究室が設けられ, 眼異常と染色体との関係についても業績を挙げられた。また, 分子遺伝学, 細胞遺伝の研究者との交友も広く, これらの新しい分野と臨床遺伝とのかけ橋を夢みておられた。教授の急逝は大きな損失であり, まことに残念である。心からご冥福をお祈り申し上げる。

(理事 中島 章)